

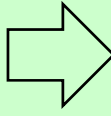
安全・安心な農作物を消費者に届けるため、 露地野菜の有機農業に取り組む

経営体の概要

設立年度：平成11年

基幹作物：葉たばこ、かんしょ、だいこん

経営面積：4.2ha



平成21年

基幹作物：にんじん、かんしょ、だいこん、
たまねぎ

経営面積：4.0ha

取組の経緯と営農転換のポイント等

本経営体は平成9年に他産業をから入植し、事業により整備されたほ場を活用し、安全・安心な食材を消費者に提供するため、有機JASを取得し、消費者ニーズに応えた営農を展開している。

地区内において若手農業者を中心に有機農業に取り組む農家や、今後取り組みたいという希望を持つ農家が増えてきており、これら農家に対して有機栽培技術の勉強会を開催し、技術指導を行うなど、地域農業の活性化に貢献している。

営農改善のポイント

①単収・品質の向上

平成15年京都府エコファーマーに認定され、その後、有機栽培へ取り組み、平成19年に有機JASを取得し、EM自然農法にも取り組み、消費者ニーズに対応した経営を展開している。

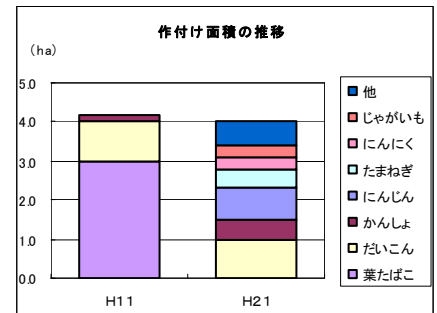
有機栽培を実践しているため、以前より単収、堆肥施用等の土作りにより品質の向上に努めている。



有機農業実践ほ場

②作物の変化

入植時は、葉たばこ、だいこん、かんしょの少品目大量生産スタイルであったが、現在はだいこん、にんじん、かんしょ、たまねぎを主として、他に約20品目の栽培を行っており、直接販売で、年間を通じての栽培出荷体系を組み、きめ細やかな管理を行っている。



③流通・販売の工夫

入植当初はJAを通じての契約販売のみであったが、現在は直接小売店や卸売店へ販売している。

また、有機野菜をアピールするため、自らホームページを作成し、インターネットを通じての農作物販売・ニュースレターの配信を行っている。

事業概要

事業種：国営農地開発事業

関係市町：宮津市・京丹後市

受益面積：624ha

事業期間：昭和58年～平成14年

事業目的：農地造成・区画整理

主要工事：農地造成：518ha、区画整理：106ha

位置図（京都府）



<局問い合わせ先>

近畿農政局 農村計画部
資源課 営農担当

電話：075-451-9161

（内線：2452）

（平成21年調査時点）